

— 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。 —

使用上の注意改訂のお知らせ

2025年3 - 5月

プロトンポンプ阻害剤

ラベプラゾールナトリウム製剤

パリエット[®]錠5mg 錠10mg

ラベプラゾールナトリウム製剤

パリエット[®]錠20mg

ヘリコバクター・ピロリ除菌治療剤

ラベプラゾールナトリウム錠、

アモキシシリン水和物錠、

日本薬局方クラリスロマイシン錠

処方箋医薬品^{注)}

ラベキュア[®]パック400 パック800

注) 注意 - 医師等の処方箋により使用すること

ラベプラゾールナトリウム錠、

アモキシシリン水和物錠、

日本薬局方メトロニダゾール錠

処方箋医薬品^{注)}

ラベファイン[®]パック

製造販売元 **エーザイ株式会社**
東京都文京区小石川4-6-10

販売元 **EAファーマ株式会社**
東京都中央区入船二丁目1番1号

このたび、標記製品の「使用上の注意」を下記のとおり改訂いたしました。

今後のご使用に際しましては、下記内容をご参照いただき、本書を適正使用情報としてご活用いただきますようお願い申し上げます。

改訂内容ダイジェスト(詳細はお知らせ本文をご参照ください)

改訂項目	改訂理由等	備考
2. 禁忌 (次の患者には投与しないこと) 10. 相互作用 10.1 併用禁忌 (併用しないこと)	「アタザナビル硫酸塩」(代表的な製品名: レイアタツ) は製造販売中止(経過措置期間満了)されていることから記載を削除いたしました。	通知によらない改訂

本改訂内容は医薬品安全対策情報 (Drug Safety Update) No.335 (2025年4月下旬PMDAホームページ掲載予定) にも掲載される予定です。

★製品に関するお問い合わせ先: EAファーマ株式会社 くすり相談室

フリーダイヤル 0120-917-719 9:00~17:30 (土、日、祝日 9:00~17:00)

★製品情報は、EAファーマ株式会社ホームページ (<https://www.eapharma.co.jp/>) でご覧いただけます。

本製品の最新電子添文は独立行政法人医薬品医療機器総合機構
ホームページ (<https://www.pmda.go.jp/>) からご覧ください。

I .パリエット錠 5 mg／錠10mg／錠20mg [改訂箇所]

2.禁忌（次の患者には投与しないこと）、10.相互作用、10.1 併用禁忌（併用しないこと）

〈改訂部分抜粋〉

下線部（ ）を削除いたしました。

改 訂 後			改 訂 前																				
<p>2.禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1（略）</p> <p>2.2 リルピビリン塩酸塩を投与中の患者 [10.1 参照]</p>			<p>2.禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1（略）</p> <p>2.2 <u>アタザナビル硫酸塩、</u>リルピビリン塩酸塩を投与中の患者 [10.1 参照]</p>																				
<p>10.相互作用 （略）</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>削除</td> <td>削除</td> <td>削除</td> </tr> <tr> <td>（略）</td> <td>（略）</td> <td>（略）</td> </tr> </tbody> </table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	削除	削除	削除	（略）	（略）	（略）	<p>10.相互作用 （略）</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アタザナビル硫酸塩（<u>レイアタツツ</u>） [2.2 参照]</td> <td>アタザナビルの作用が<u>減弱するおそれがある。</u></td> <td>本剤の胃酸分泌抑制作用により、<u>胃内pHが上昇し、アタザナビルの溶解性が低下し、アタザナビルの血中濃度が低下するおそれがある。</u></td> </tr> <tr> <td>（略）</td> <td>（略）</td> <td>（略）</td> </tr> </tbody> </table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	アタザナビル硫酸塩（ <u>レイアタツツ</u> ） [2.2 参照]	アタザナビルの作用が <u>減弱するおそれがある。</u>	本剤の胃酸分泌抑制作用により、 <u>胃内pHが上昇し、アタザナビルの溶解性が低下し、アタザナビルの血中濃度が低下するおそれがある。</u>	（略）	（略）	（略）
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																					
削除	削除	削除																					
（略）	（略）	（略）																					
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																					
アタザナビル硫酸塩（ <u>レイアタツツ</u> ） [2.2 参照]	アタザナビルの作用が <u>減弱するおそれがある。</u>	本剤の胃酸分泌抑制作用により、 <u>胃内pHが上昇し、アタザナビルの溶解性が低下し、アタザナビルの血中濃度が低下するおそれがある。</u>																					
（略）	（略）	（略）																					

II .ラベキュアパック400／800 [改訂箇所]

2.禁忌（次の患者には投与しないこと）、10.相互作用、10.1 併用禁忌（併用しないこと）

〈改訂部分抜粋〉

下線部（ ）を削除いたしました。

改 訂 後			改 訂 前																				
<p>2.禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1（略）</p> <p>2.2 リルピビリン塩酸塩、ピモジド、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、スボレキサント、ロミタピドメシル酸塩、タダラフィル [アドシルカ]、チカグレロル、イブルチニブ、イバブラジン塩酸塩、ベネトクラクス（再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の用量漸増期）、ルラシドン塩酸塩、アナモレリン塩酸塩、フィネレノン、イサブコナゾニウム硫酸塩を投与中の患者 [10.1 参照]</p> <p>2.3～2.5（略）</p>			<p>2.禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1（略）</p> <p>2.2 <u>アタザナビル硫酸塩、</u>リルピビリン塩酸塩、ピモジド、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、スボレキサント、ロミタピドメシル酸塩、タダラフィル [アドシルカ]、チカグレロル、イブルチニブ、イバブラジン塩酸塩、ベネトクラクス（再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の用量漸増期）、ルラシドン塩酸塩、アナモレリン塩酸塩、フィネレノン、イサブコナゾニウム硫酸塩を投与中の患者 [10.1 参照]</p> <p>2.3～2.5（略）</p>																				
<p>10.相互作用 （略）</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと） 〈ラベプラゾールナトリウム〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>削除</td> <td>削除</td> <td>削除</td> </tr> <tr> <td>（略）</td> <td>（略）</td> <td>（略）</td> </tr> </tbody> </table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	削除	削除	削除	（略）	（略）	（略）	<p>10.相互作用 （略）</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと） 〈ラベプラゾールナトリウム〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アタザナビル硫酸塩（<u>レイアタツツ</u>） [2.2 参照]</td> <td>アタザナビルの作用が<u>減弱するおそれがある。</u></td> <td>ラベプラゾールナトリウムの胃酸分泌抑制作用により、<u>胃内pHが上昇し、アタザナビルの溶解性が低下し、アタザナビルの血中濃度が低下するおそれがある。</u></td> </tr> <tr> <td>（略）</td> <td>（略）</td> <td>（略）</td> </tr> </tbody> </table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	アタザナビル硫酸塩（ <u>レイアタツツ</u> ） [2.2 参照]	アタザナビルの作用が <u>減弱するおそれがある。</u>	ラベプラゾールナトリウムの胃酸分泌抑制作用により、 <u>胃内pHが上昇し、アタザナビルの溶解性が低下し、アタザナビルの血中濃度が低下するおそれがある。</u>	（略）	（略）	（略）
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																					
削除	削除	削除																					
（略）	（略）	（略）																					
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																					
アタザナビル硫酸塩（ <u>レイアタツツ</u> ） [2.2 参照]	アタザナビルの作用が <u>減弱するおそれがある。</u>	ラベプラゾールナトリウムの胃酸分泌抑制作用により、 <u>胃内pHが上昇し、アタザナビルの溶解性が低下し、アタザナビルの血中濃度が低下するおそれがある。</u>																					
（略）	（略）	（略）																					

Ⅲ.ラベファインパック [改訂箇所]

2.禁忌（次の患者には投与しないこと）、10.相互作用、10.1 併用禁忌（併用しないこと）

〈改訂部分抜粋〉

下線部（ ）を削除いたしました。

改 訂 後			改 訂 前																				
2.禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1（略） 2.2 リルピビリン塩酸塩を投与中の患者 [10.1 参照] 2.3～2.6（略）			2.禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1（略） 2.2 <u>アタザナビル硫酸塩、</u> リルピビリン塩酸塩を投与中の患者 [10.1 参照] 2.3～2.6（略）																				
10.相互作用 （略） 10.1 併用禁忌（併用しないこと） 〈ラベプラゾールナトリウム〉 <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>削除</td> <td>削除</td> <td>削除</td> </tr> <tr> <td>（略）</td> <td>（略）</td> <td>（略）</td> </tr> </tbody> </table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	削除	削除	削除	（略）	（略）	（略）	10.相互作用 （略） 10.1 併用禁忌（併用しないこと） 〈ラベプラゾールナトリウム〉 <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アタザナビル硫酸塩（レイアタツ） [2.2 参照]</td> <td>アタザナビルの作用が<u>減弱するおそれがある。</u></td> <td>ラベプラゾールナトリウムの胃酸分泌抑制作用により、胃内pHが上昇し、アタザナビルの溶解性が低下し、アタザナビルの血中濃度が低下するおそれがある。</td> </tr> <tr> <td>（略）</td> <td>（略）</td> <td>（略）</td> </tr> </tbody> </table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	アタザナビル硫酸塩（レイアタツ） [2.2 参照]	アタザナビルの作用が <u>減弱するおそれがある。</u>	ラベプラゾールナトリウムの胃酸分泌抑制作用により、胃内pHが上昇し、アタザナビルの溶解性が低下し、アタザナビルの血中濃度が低下するおそれがある。	（略）	（略）	（略）
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																					
削除	削除	削除																					
（略）	（略）	（略）																					
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																					
アタザナビル硫酸塩（レイアタツ） [2.2 参照]	アタザナビルの作用が <u>減弱するおそれがある。</u>	ラベプラゾールナトリウムの胃酸分泌抑制作用により、胃内pHが上昇し、アタザナビルの溶解性が低下し、アタザナビルの血中濃度が低下するおそれがある。																					
（略）	（略）	（略）																					

改訂理由

ラベプラゾールナトリウムの併用禁忌の相手薬として設定していた「アタザナビル硫酸塩」（代表的な製品名:レイアタツ）は製造販売中止（経過措置期間満了）されていることから記載を削除いたしました。

[GS1バーコード]

薬機法（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律）の改正に伴い、令和3年8月1日より医療用医薬品の添付文書の電子化が施行されました。

添付文書閲覧アプリ「添文ナビ[®]」でGS1バーコードを読み取ることで、スマートフォンやタブレット端末で最新の電子添文をご覧いただけます。

なお、「添文ナビ[®]」アプリにつきましては、ご使用になれる端末に合わせて「App Store」または「Google Play」よりダウンロードしてください。

	パリエット [®] 錠 5mg	パリエット [®] 錠10mg	パリエット [®] 錠20mg
販売包装単位	 (01)14987699058662	 (01)14987699058723	 (01)14987699058693
	ラベキュア [®] パック 400	ラベキュア [®] パック 800	ラベファイン [®] パック
販売包装単位	 (01)14987699058785	 (01)14987699058792	 (01)14987699058808

CODE DI-J-998
2025年3月作成
(2509)